



# 2006年度 (平成19年3月期) 中間決算説明会



**エーザイ株式会社**  
2006年10月31日

## 将来見通しに関する注意事項

- ・ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- ・ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ・ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ・ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# 連結決算業績

(億円、%)

	2005年度中間期		2006年度中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	増減額
売上高	2,826	100.0	<b>3,194</b>	100.0	113	368
売上原価	487	17.2	<b>532</b>	16.7	109	45
売上総利益	2,339	82.8	<b>2,662</b>	83.3	114	322
研究開発費	444	15.7	<b>522</b>	16.4	118	78
販売管理費	1,443	51.0	<b>1,643</b>	51.4	114	200
営業利益	453	16.0	<b>496</b>	15.5	110	44
経常利益	471	16.7	<b>517</b>	16.2	110	46
中間純利益	302	10.7	<b>325</b>	10.2	108	24
研開費+営業利益	897	31.7	<b>1,019</b>	31.9	114	122

# 主要製品売上高

(億円、%)

製品名	所在地	2005年度 中間期	2006年度 中間期	
		実績	実績	前年同期比
アリセプト® アルツハイマー型 痴呆(認知症)治療剤	計	899	1,162	129
	日本	205	239	117
	米国 (百万ドル)	526 (481)	727 (631)	138 (131)
	欧州	147	168	114
	アジア	20	28	141
パリエット® / アシフェックス® プロトンポンプ 阻害型抗潰瘍剤	計	716	834	117
	日本	132	146	111
	米国 (百万ドル)	534 (488)	604 (524)	113 (107)
	欧州	35	60	173
	アジア	15	23	154
ゾネグラン® 抗てんかん剤	計	76	23	31
	米国 (百万ドル)	75 (68)	16 (14)	22 (21)
	欧州・アジア	1	7	558

# 所在地別売上高

(億円、%)

	2005年度 中間期		2006年度 中間期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	増減額
日本	1,396	49.4	1,435	44.9	103	39
北米	1,140	40.3	1,391	43.6	122	252
欧州	212	7.5	265	8.3	125	53
アジア他	79	2.8	103	3.2	130	24
海外計	1,431	50.6	1,759	55.1	123	328
合計	2,826	100.0	3,194	100.0	113	368

外部顧客に対する売上高

# 所在地別営業利益

(億円、%)

	2005年度 中間期		2006年度 中間期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	増減額
日本	370	74.4	341	66.6	92	△29
北米	85	17.1	133	25.9	156	47
欧州	27	5.4	20	3.9	75	△7
アジア他	15	3.1	18	3.6	121	3
海外計	127	25.6	171	33.4	135	44
小計	497	100.0	512	100.0	103	15
消去・全社	△44		△16			28
合計	453		496		110	44

# Eisai Inc. 損益実績

(百万ドル、%)

	2005年度 中間期		2006年度 中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年 同期比	増減額
売上高	1,047	100.0	1,212	100.0	116	164
アリセプト <sup>®</sup>	481	45.9	631	52.0	131	150
アシフェックス <sup>®</sup>	488	46.6	524	43.2	107	36
ゾネグラン <sup>®</sup>	68	6.5	14	1.2	21	△54
フラグミン <sup>®</sup>	-	-	31	2.6	-	31
営業利益	72	6.9	107	8.9	149	35
中間純利益	49	4.7	74	6.1	153	26
営業利益 (ロイヤルティ控除前)	218	20.8	288	23.8	132	71

# 連結フリー・キャッシュ・フロー推移

(億円)

	営業キャッシュ・フロー		資本的支出等		フリー・キャッシュ・フロー	
	実績	増減額	実績	増減額	実績	増減額
2003年度 中間期	458	263	98	△44	360	307
2004年度 中間期	408	△51	242	143	166	△194
2005年度 中間期	399	△9	192	△50	207	41
2006年度 中間期	<b>366</b>	<b>△33</b>	<b>142</b>	<b>△50</b>	<b>224</b>	<b>17</b>



# ドラマティック リープ プランにおける成長性

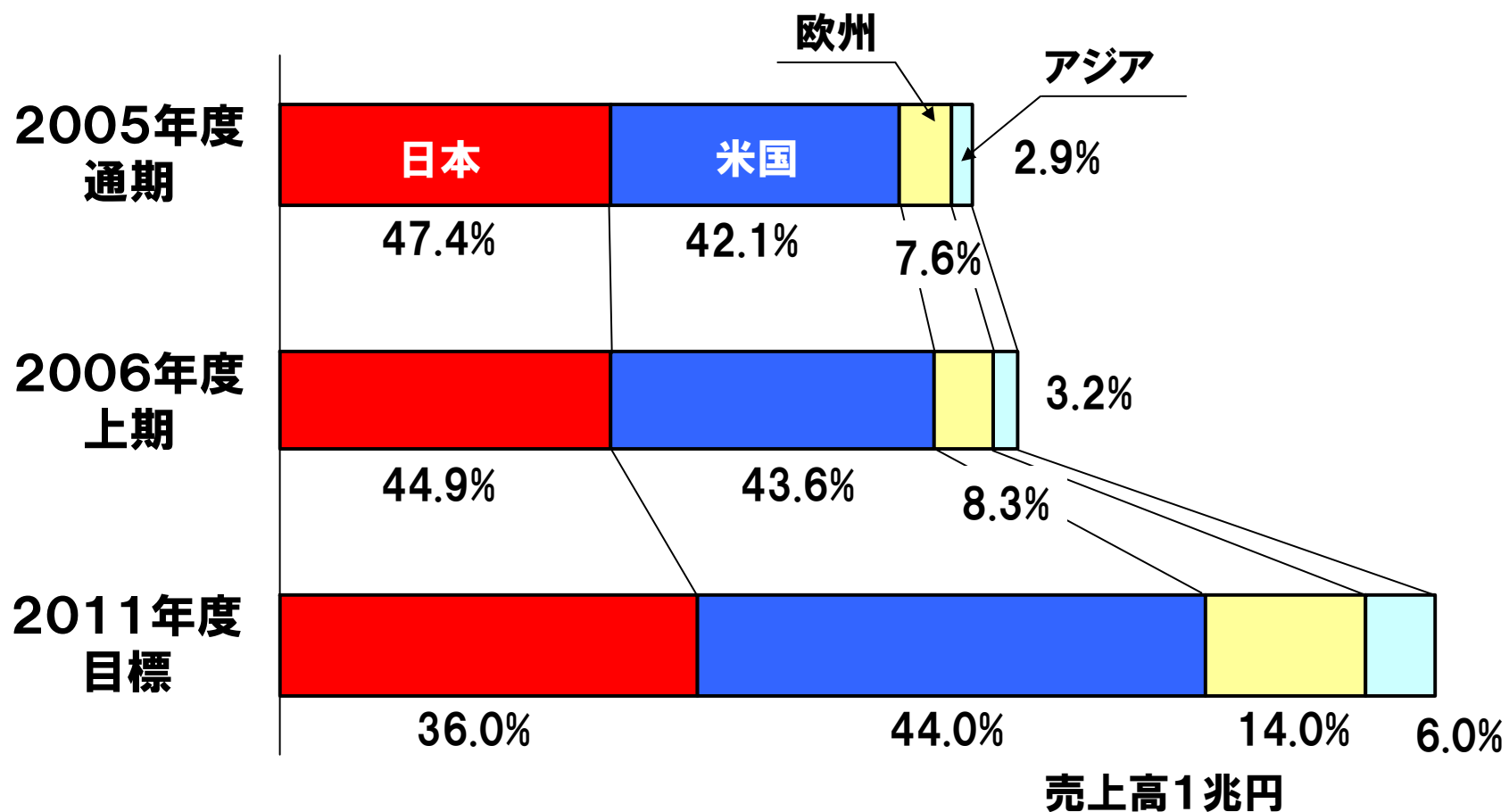
(%、円ベース)

	2006～2011年度 平均成長率		2006年度 上期
	市場予測	エーザイ目標	エーザイ
日本 (うち医療用医薬品)	- 102	104 107	103 104
米州	108	110	122
欧州	107	121	125
アジア他	109	120	130
海外計	108	113	123
合計	107	109	113

(平均成長率はドラマティックリーププランによる)

# グローバル化の質的転換

## Regional(日・米・欧・アジア)バランスの追求



# 高度アルツハイマー病の追加適応承認を取得



U.S. Food and Drug Administration



[FDA Home Page](#) | [Search FDA Site](#) | [FDA A-Z Index](#) | [FDA News](#)

## FDA News

FOR IMMEDIATE RELEASE  
P06-168  
October 13, 2006

Today's approval is based on two additional randomized, placebo-controlled, 24-week clinical studies conducted in Sweden and Japan in more than 500 patients

### FDA Approves Expanded Use of Treatment for Patients With Severe Alzheimer's Disease

The Food and Drug Administration (FDA) today approved Aricept (donepezil hydrochloride) for the treatment of severe dementia in patients with Alzheimer's Disease.

Aricept was previously approved for the treatment of mild to moderate dementia of the Alzheimer's type. It now becomes the first product approved for the treatment of all degrees of severity of the disease.

"Alzheimer's Disease is a devastating, age-associated brain disorder that affects an estimated 4.5 million Americans -- as our population grows older, this number is expected to multiply," said Dr. Steven Galson, director of the Center for Drug Evaluation and Research. "Today's approval makes available another treatment for those with severe dementia."

FDA approved Aricept to treat patients with mild to moderate Alzheimer's Disease ten years ago after two clinical trials demonstrated that patients receiving the drug performed better than patients who received placebo. Today's approval is based on two additional randomized, placebo-controlled, 24-week clinical studies conducted in Sweden and Japan in more than 500 patients with severe Alzheimer's Disease.

In these studies, the effectiveness of treatment with Aricept was determined by evaluating the patients' cognitive functions such as memory, language, orientation and attention, as well as their overall functioning. The results showed that patients on Aricept performed better on both measures compared to placebo.

Aricept is manufactured by Eisai Inc., Teaneck, N.J.

## 世界初のフルスペクトラムなアルツハイマー病治療剤

(単位: 1,000人)

	日本		米国		欧州(G5)		アジア		合計	
	患者数	アリセプト浸透率	患者数	アリセプト浸透率	患者数	アリセプト浸透率	患者数	アリセプト浸透率	患者数	アリセプト浸透率
軽度・中等度	900	41.5%	3,340	39.5%	2,080	18.0%	2,600	6.1%	8,920	25.0%
高度	250		1,160		310		650		2,370	
合計	1,150	32.5%	4,500	29.3%	2,390	15.7%	3,250	4.9%	11,290	19.7%

地域別アルツハイマー患者数 出典: データモニター2004、自社データ

- **世界の未治療患者市場へのアプローチ**
  - アルツハイマー病患者グループ・ケアグループとの密接なコミュニケーション
  - 疾病・新規治療法についての啓発活動の充実
  - 自社およびパートナーのMR力強化による積極的な情報活動の展開
- **高度アルツハイマー適応は欧州で相互認証制度に基づきMHRAへ申請中、日本では医薬品医療機器総合機構へ申請中**
- **軽度認知障害、経皮吸収型テープ製剤、徐放性製剤テーマへの積極的な取り組み**

# E7389:乳がん3rdラインサブパートH試験 目標症例数300例のエントリーを完了 申請時期を2007年度第3四半期とする

乳がん	<p>3rdラインのサブパートH用試験で目標症例数300例のエントリーを完了 申請時期を2007年度第3四半期とする 2ndライン フェーズIII試験進行中 3rdライン フェーズIII試験進行中</p>
前立腺がん	<p>フェーズIIPOC試験進行中</p>
非小細胞肺がん	<p>単剤で既存の2ndライン治療剤と同等の効果を確認 カルボプラチンとの併用 フェーズIb試験開始</p>
肉腫	<p>フェーズIIPOC試験準備中</p>
国内	<p>フェーズI試験進行中</p>
NCIとの共同治験	<p>卵巣がん、頭頸部がんなどについてフェーズII試験を進行中</p>

# 米国ライ gand社から 抗がん剤4品を戦略的製品買収

製品名	適応症	特許満了
オンタック®	CD25陽性皮膚浸潤性T細胞リンパ腫治療剤（静脈内注射）	2014年12月
タルグレチン®・カプセル	再発性皮膚浸潤性T細胞リンパ腫治療剤（経口投与）	2016年10月
タルグレチン®・ゲル1%	再発性皮膚浸潤性T細胞リンパ腫治療剤（経皮投与）	2016年10月
パンレチン®・ゲル0.1%	AIDSにともなう表在性カポジ肉腫治療剤（経皮投与）	2016年10月

- 知的財産権を含む、4品に関する資産を買収
- ライ gand社オンコロジー・エキスパートを移籍
- 10月25日より販売開始
- 2007年度に4品合計で\$60百万を見込む
- ドラマティック リープ プランにおける重要戦略であるがん領域参入において初のコマースリゼーションとなる



# パリエット®の適応拡大・剤形追加の進展

- 長時間作用型製剤のPOC完了  
1日1回投与で長時間の血漿中濃度を持続する製剤を開発し、夜間に亢進する胃酸分泌の抑制を確認
- H. ピロリ除菌療法が医薬品第二部会を通過（日本）
- H. ピロリ二次除菌の適応追加を申請（日本）

## 薬粧事業の健闘

- 上期販売は前年比111%、収益性のさらなる改善
- 本格的OTC保健薬の成長:「チョコラBB®」グループ、「ハイガード®」、「セルベール®整胃錠」、「ナボリン®」グループ



## 後期臨床テーマの充実:フェーズIIIレベルから申請中までに12品目を有す

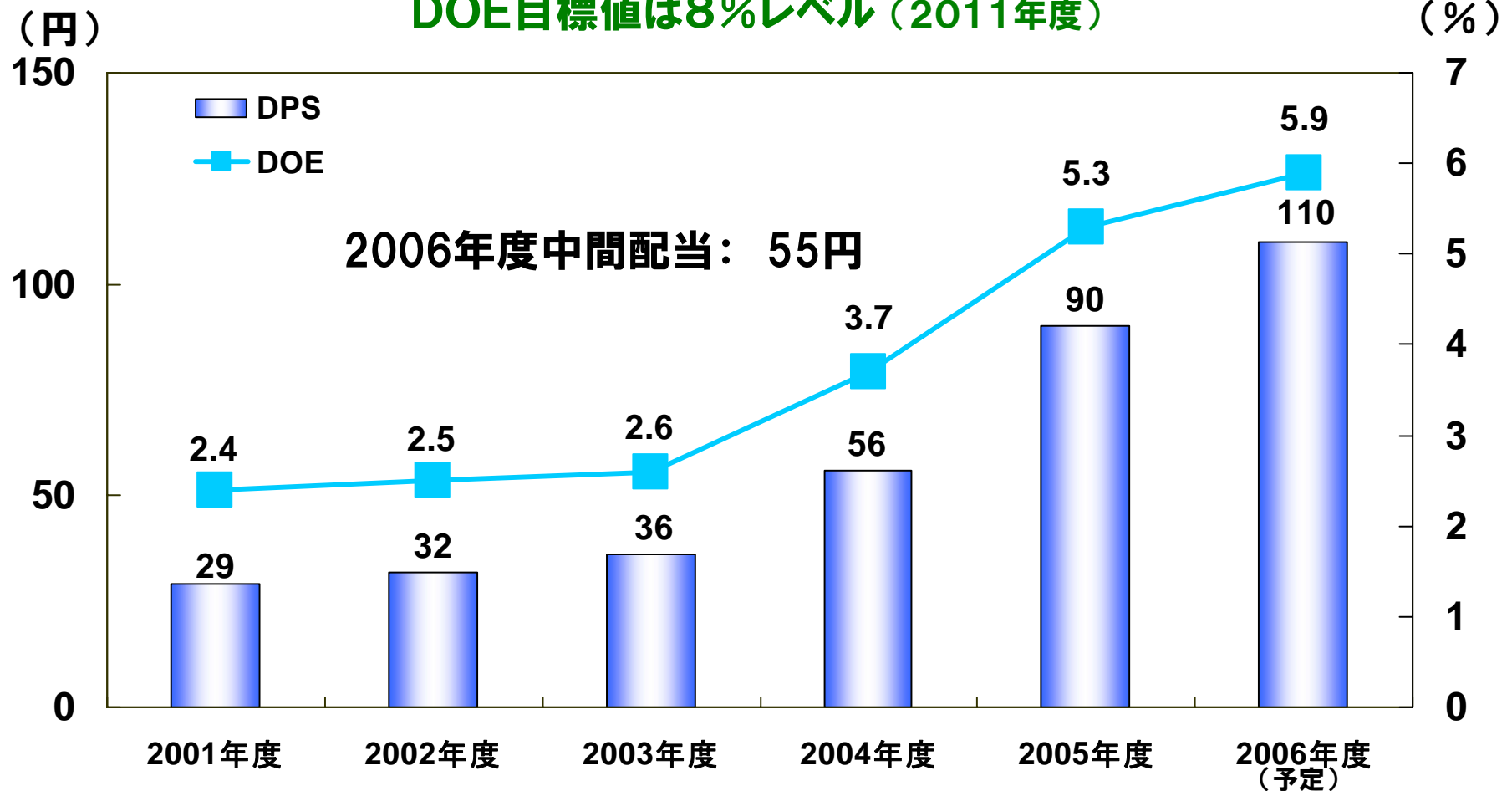
領域	プロジェクト	作用機序	適応症	進捗状況	申請予定
神経	ルフィナマイド	ナトリウムチャンネルのモジュレーション	てんかん	9月15日に米国FDAよりApprovable letterを受領、今後の承認に向けたアクションにつき、当局とミーティングを行う	申請中
	E2007	AMPA 受容体拮抗	パーキンソン病	米国でフェーズIII試験を開始、欧州ではフェーズIII試験を実施中、計画どおりの申請に向けて進行中	2007年度
			片頭痛予防	フェーズIIPOC試験進行中	
			てんかん	フェーズIIPOC試験進行中	
			多発性硬化症	フェーズIIPOC試験準備中	
	AS-3201	アルドース還元酵素阻害	糖尿病合併症	糖尿病性神経障害を対象としたフェーズIII試験を大日本住友製薬が米国において実施中、2006年末にキーオープン予定	2009年度
E0302	メコバラミン	筋萎縮性側索硬化症	フェーズII/III試験開始	2012年度	
E2012	γセクレターゼモジュレーター	アルツハイマー型認知症	米国においてフェーズI試験実施中 血中、脳髄液中のAβ量を測定し、Proof of Principle(薬理作用の検証)をめざす	2010年度	
がん	E7389	微小管伸長阻害	乳がん	3rdラインのサブパートH用試験で目標症例数300例のエントリーを完了 申請時期を2007年度第3四半期とする 2ndライン フェーズIII試験進行中 3rdライン フェーズIII試験進行中	2007年度 (サブパートH申請)
			前立腺がん	フェーズIIPOC試験進行中	
			非小細胞肺がん	カルボプラチンとの併用フェーズIb試験開始	
			肉腫	フェーズIIPOC試験準備中	
			国内	フェーズI試験進行中	
	E0167	メナテレノン	肝細胞がん再発抑制	フェーズII/III試験進行中	2008年度
	E7820	α2インテグリン発現抑制	がん	セツキシマブ併用フェーズIb/II試験(3rdライン)実施中(米国)	2011年度
	E7070	細胞周期G1期標的	小細胞肺がん、すい臓がん	イリノテカンとの併用で可能性を追求、日本での単剤胃がんは中止	2010年度
E7080	VEGF受容体チロシキナーゼ阻害	がん	日米欧でフェーズI試験実施中	2012年度	
E7974	ヘミアステリンタイプチューブリン重合阻害	がん	フェーズI実施中(米国)、P-糖タンパク質が高発現している大腸がんへの効果に期待	2012年度	
クリティカルケア、リウマチ等	T-614	サイトカイン/イムノグロブリン産生抑制	関節リウマチ	2003年9月申請済み	申請中
	D2E7	ヒト抗ヒトTNFαモノクローナル抗体	関節リウマチ	2005年12月申請	申請中
			乾癬	フェーズII/III試験進行中	
			クローン病	フェーズII/III試験準備中	
	E5564	エンドトキシン拮抗	重症敗血症	重症敗血症を対象としたフェーズIII試験を実施中、250施設のうち29施設(北米27、欧州2)がオープン 日本でのフェーズIII試験開始に先立ち、日本人を対象とするフェーズI試験を米国で実施中 2009年度に、日米欧3極にて同時申請をめざす	2009年度
	E2014	ボツリヌス毒素B型	痙性斜頸	フェーズII/III試験進行中	2006年度
	KES524	セロトニン/ノルアドレナリン再取り込み阻害	肥満症	フェーズIII試験進行中	2007年度
	クレブジン	HBVポリメラーゼ阻害	B型肝炎	フェーズIII試験準備中(中国)	
E5555	トロンピン受容体拮抗	急性冠症候群	フェーズII試験実施中(欧米) フェーズI試験実施中(日本)	2010年度 2011年度	
E1224	エルゴステロール生合成阻害	真菌感染症	フェーズI進行中(米国)	2011年度	

後期臨床テーマ



# 株主還元の実

安定的・継続的配当を目指す  
DOE目標値は8%レベル(2011年度)



自己株式 取得実績	459万株 139億円	300万株 92億円	400万株 114億円	197万株 61億円	—	200万株* 111億円
--------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---	-----------------

\*2006年7月31日取締役会決議は、上限4百万株、220億円

# 通期連結業績見通し

(億円、%)

	2005年度		2006年度			増額修正
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比	
売上高	6,013	100.0	6,530	100.0	109	130
売上原価	1,045	17.4	1,090	16.7	104	
売上総利益	4,967	82.6	5,440	83.3	110	
研究開発費	932	15.5	1,050	16.1	113	
販売管理費	3,078	51.2	3,340	51.1	109	
営業利益	957	15.9	1,050	16.1	110	40
経常利益	1,000	16.6	1,085	16.6	108	45
当期純利益	634	10.5	685	10.5	108	15
EPS (円)	221.9		241.2		109	